

大学コンソーシアムあきた平成18年度事業報告

会務の経過

18. 3.28 運営委員会 <18年度事業計画、事業報告、決算見込み報告 >
18. 4.26 監査の実施 <平成17年度事業実施状況及び会計の審査 >
18. 5. 9 理事会 <18年度事業計画・予算の決定、事業報告、決算報告 >
18. 5.29 運営委員長、各部長打ち合わせ <部会付託事項の確認 >
18. 6. 7 第1回地域貢献部会
- ・ 高大連携授業の前期応募状況並びに後期科目提供依頼
 - ・ 社会人講座の科目提供依頼
 - ・ 連携公開講座の企画方針
 - ・ 講座構成の検討
18. 6.16 第1回教育研究部会
- ・ 単位互換授業の履修状況、履修促進策
 - ・ 職員研修事業の構成と進め方
18. 7.12 連携公開講座「観光立県を目指して」打ち合わせ会議
- ・ 講座構成案の作成
 - ・ 開講日程調整
18. 7.28 連携公開講座「高齢化対策」参画者打ち合わせ会議
- ・ 企画方針の協議と講座構成案の作成
 - ・ 開講日程調整
- 18.12.19 第2回地域貢献部会
- ・ 高大連携授業の実施状況報告
 - ・ 社会人講座の実施状況報告
 - ・ 連携公開講座の実施状況報告
 - ・ 全国大学コンソーシアム協議会への参加報告
- 18.12.21 教育研究部会職員研修講演会
- ・ 演題「鹿児島県内大学等間の授業交流(単位互換)の現状と課題」
 - ・ 講師 鹿児島大学学生部教務課長 飯干秀徳氏
19. 1. 9 運営委員長、各部長打ち合わせ <来年度事業、課題確認 >
19. 1.17 教育研究部会職員研修「単位互換ワーキンググループ」
19. 1.29 第2回教育研究部会
- ・ 単位互換ワーキンググループ検討結果報告
 - ・ 単位互換協定満了後の取り扱い
19. 2. 2 教育研究部会職員研修「大学間連携学生就職支援ワーキンググループ」
19. 2. 5 運営委員会 <来年度事業計画、事業報告、決算見込み報告 >
19. 3.29 理事会 <単位互換協定締結、役員任期の満了、活動総括と課題 >
19. 4.13 監査の実施 <平成18年度事業実施状況及び会計の監査 >

単位互換授業

単位互換制度の現状

< 提供科目数 >	前期	後期	前期	後期
カレッジプラザ	(2)	(0)	(1)	(0)
秋田大学	63	61	86	50
秋田県立大学(本荘C)	105	84	110	105
秋田県立大学(秋田C)	67	50	70	60
秋田経済法科大学	78	23	44	46
秋田県立大学短大部	22	11	8	3
秋田公立美術工芸短大	7	8	7	8
秋田栄養短期大学	30	17	4	1
聖霊女子短期大学	11	6	5	6
日本赤十字秋田短大	3	3	5	4
秋田工業高等専門学校	12	4	10	3
	398	267	349	286

< 履修登録の内訳 >

平成18年度<後期>履修登録者内訳(人数は延べ人数)

聖霊短大 秋田大学 3人 法律を考えるB
 聖霊短大 秋田大学 1人 日本国憲法A
 聖霊短大 秋田大学 2人 心理学
 聖霊短大 秋田大学 3人 障害と共生 B

9人 4科目(実人数8人)

平成18年度<前期>履修登録者内訳

県立大学 秋田大学 1人 日本国憲法B～自分の憲法観が持てるように
 聖霊短大 秋田大学 1人 心理学～心の科学史
 秋田大学 県立大学 3人 動物遺伝資源管理学集中講義
 経法大 県立大学 1人 "
 聖霊短大 県立大学 1人 "

7人 3科目(実人数7人)

< カレッジプラザにおける開講状況 >

科目名・提供大学	開講時期、受講者数等(担当教員)
動物遺伝資源管理学	夏季集中、8/6～9の4日間 15名 (稲元民夫教授)
秋田県立大学 生物資源科学部	県立大の学生24名(うち大学院生2名) 特別聴講学生 5名(秋田大3、経法大1、聖霊1)

単位互換の次期協定に向けた各構成機関の意向

	機 関 名	現協定の参加機関	次期協定参加の意向
1	秋田大学	参加	参加する
2	秋田県立大学(県大短大部含む)	参加	参加する
3	国際教養大学		参加する
4	秋田経済法科大学	参加	参加する
5	秋田看護福祉大学		参加する
6	秋田公立美術工芸短期大学	参加	参加する
7	秋田栄養短期大学	参加	参加する
8	聖霊女子短期大学	参加	参加する
9	日本赤十字秋田短期大学	参加	参加する
10	聖園学園短期大学	参加	参加する
11	秋田工業高等専門学校	参加	参加する
12	放送大学秋田学習センター		不参加
13	秋田職業能力開発短期大学校		不参加
	計	9 ⁽¹⁾	参加機関数 11

職員研修講演会「鹿児島県内大学等間の授業交流(単位互換)の現状と課題」

～平成18年度大学コンソーシアムあきた職員研修事業～

<日 時> 平成18年12月21日(木)

<出席者> 構成機関の教務担当職員等、総務部、企画部、計20名

<テーマ> 「鹿児島県内大学等間の授業交流(単位互換)の現状と課題」

- 1 単位互換制度設立の経緯
- 2 制度実施初期において直面した課題(要因の分析と対応方針)
- 3 課題への取り組みと成果(コーディネート科目等の実施)
- 4 将来ビジョンと今後の課題(制度のあり方、発展に向けた課題)

<講 師> 鹿児島大学学生部教務課長 飯干秀徳 氏

単位互換授業利活用促進策検討ワーキンググループの概要

～平成18年度大学コンソーシアムあきた職員研修事業～

<日 時> 平成19年1月17日(水)

<出席者> 7大学等の教務担当職員、企画部、計11名

<概 要>

1 単位互換制度利活用のあり方について

- ・ 大学間連携による多様な教育機会提供のための制度としての理念は今後も尊重すべきだが、制度の活用を図るため、学生にとってより利用しやすい仕組みづくりが必要。
- ・ 自学では開講していない科目を受講することにより、学生が幅広い分野の知識の修得や資格取得に役立てることができるよう活用すべき。
- ・ 学生にとっては、当然に自学カリキュラムの履修が優先されるため、(移動距離や時間を費やす)他学科目の受講が一般に広く活用されない状況は、やむを得ない前提として利活用の方策を検討しなければならない。

- 各大学等にとっても、単位互換の利活用をいま以上に促進するには、例えば自学の授業時間帯の見直しなど既存の仕組みに一定の変更を要するなど、難しいハードルがある。

(集約された意見)

- 単位互換制度は、学生がより広く知識を習得するための教育機会を提供する仕組みとして一定の意義を持つものであり、その利活用の促進については各大学等におけるカリキュラムポリシーの尊重を前提としつつ、そのプラスアルファの部分としてより学生が利用しやすい科目提供の方策等が講じられるべきである。

2 利活用上の問題点

- 他学の科目を受講するためには大学間の移動が必要となり、この点は物理的に解決不可能(大学間のシャトルバスなどアクセスの利便性を図る方策も実現困難)。
- また、他学科目の受講には(移動時間と併せて)自学科目の授業時間を犠牲にしなければならない。各大学等が共通に単位互換用の授業時間を設けることも実際には困難。
- 受講登録等の期間が通常の間とずれるため(春期休業に入ってしまう等)学生に対する適切な周知・手続のタイミングが難しい。手続における一定の弾力的な対応が必要。
- 他学科目の受講には学生への動機付けも重要。学生にとって興味を持てる、メリットのある科目内容や効果的なPR等の工夫が必要。

3 利活用促進策の具体案(具体の提案事例)

- 単位互換用の「共通時間帯」
各大学等で共通に単位互換授業のための時間帯を設ける。
- 遠隔講義システムの活用
情報通信機器を利用して大学間で講義の映像・音声を配信する。
- 「コーディネート科目」の実施
夏期休暇期間等を活用し集中講義形式により科目を提供する。
- 他学学生向けに工夫した科目の提供
学生に関心の高い・メリットのある内容の科目(資格関係等)を提供。

(集約された意見)

- 「共通時間帯」 全ての大学等で一律に授業時間を空けることは実現困難。
- 「遠隔講義システム」 現状は実用性確認段階、機材・人員の課題もあり実現困難。
- 実現可能性の高い方策として、学生が興味を持てる科目を夏期休暇期間等を活用した集中講義形式により提供する(「コーディネート科目」)。
「コーディネート科目」の実現に向けた検討課題
- 施設の確保 比較的アクセスに利便のよい会場としてカレッジプラザを活用
- 教職員の負担 開講科目数を絞る、複数教員による講義分担、特定大学に偏らない科目提供等の工夫、カレッジプラザ開講の場合、同所スタッフが対応可能
- 集中講義形式は教員・学生双方に負担感も 授業回数を短縮した1単位の科目開講も検討

- ・ 他学の学生向けを前提とする科目提供の適否
平成18年度前期に募集した「履修推奨科目」には応募大学が少なかったことを踏まえ、大学間連携による教育機会の多様化という趣旨の理解、学内へのアナウンスや合意形成
 - ・ 学生向け広報 より多くの学生が参加できるよう各大学等において積極的に学内周知
- 4 単位互換協定への意見
- ・ 例えば後期のみでの半期開講科目については5月以降の受入手続きも可能とするなど、受講者の受入手続きについて、各大学の判断において可能な限り柔軟に対応するよう努めることを盛り込む。

連携公開講座

観光立県を目指して

参加機関 秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学、秋田公立美術工芸短期大学
コーディネーター 平野庫太郎教授（秋田公立美術工芸短期大学）

- 第1回** 観光とまちづくり 10月16日(月)18:30～20:00
観光と地域特性
秋田大学教育文化学部 和泉 浩 助教授
- 第2回** グリーン・ツーリズム エコ・ツーリズム 10月23日(月)18:30～21:00
グリーン・ツーリズムの可能性：農業と観光の融合した農村世界
講師 秋田県立大学生物資源科学部 荒樋 豊 教授
エコ・ツーリズム：可能性と課題
講師 国際教養大学 熊谷嘉隆 助教授
- 第3回** 観光資源としての秋田スギ 10月30日(月)18:30～21:00
観光資源としての秋田スギを活用した建築
その1 秋田杉の歴史・背景と観光資源としての可能性
講師 秋田県立大学木材高度加工研究所 飯島泰男 教授
その2 秋田スギを活用した建築事例の紹介
講師 秋田県立大学木材高度加工研究所 川鍋亜衣子准教授
その3 スギの材料としての魅力と観光資源として建築的活用
講師 秋田県立大学システム科学技術学部 板垣直行 准教授
杉を活用した体験型観光の可能性
講師 秋田公立美術工芸短期大学 菅原香織 助手
- 第4回** 歴史とまちなみ 11月6日(月)18:30～21:00
秋田県内の古建築の見方、しらべ方
講師 秋田公立美術工芸短期大学 澤田 享教授
秋田市新屋地区の景観形成
講師 秋田公立美術工芸短期大学 平野庫太郎教授
講師 秋田公立美術工芸短期大学 石垣 充講師
事例発表 秋田市都市整備部 大高園美技師
- 第5回** 国際観光立県 11月13日(月)18:30～21:00
鼎談 - 国際観光立県を目指して -

講師 秋田公立美術工芸短期大学
 講師 国際教養大学
 講師 国際教養大学

石川 好学長
 勝又美智雄教授
 土井久太郎特任教授

< 受講者数 >	受講登録者	72名	< 受講回数 >	5回	6名
	第1回講座	37名		4回	9名
	第2回講座	34名		3回	10名
	第3回講座	25名		2回	12名
	第4回講座	27名		1回	28名
	第5回講座	26名		0回	7名
	平均	29.8名			

高齢化対策：明るく、しなやかに、したたかに

参加機関 秋田大学、秋田県立大学、秋田経済法科大学、秋田看護福祉大学
 秋田栄養短期大学

コーディネーター 古田重明名誉教授（秋田経済法科大学）

- 第1回** 老いの変化を科学的にとらえる 10月4日(水)13:30～15:30
 老いることを科学的に理解する
 講師 秋田大学医学部 煙山晶子 講師
 細胞の老化と活性化について
 講師 秋田大学工学資源学部 伊藤英晃 教授
- 第2回** 快適な生活を送るために 10月11日(水)13:30～15:30
 認知症高齢者の介護のポイント
 講師 秋田看護福祉大学 工藤 久 講師
 シルバーエイジの食事戦略 希望者に栄養指導実施(4名)
 講師 秋田栄養短期大学 滝沢晴弘 講師
- 第3回** 高齢者と生きがい 10月17日(火)13:30～15:30
 園芸療法～高齢社会における園芸・農作業の効用について～
 講師 秋田県立大学生物資源科学部 神田啓臣 准教授
- 第4回** 高齢者と社会のかかわり 10月24日(火)13:30～15:30
 古代に見るさまざまな「老」
 講師 秋田大学教育文化学部 渡部育子 教授
 医療保障を中心とした今後の社会保障の在り方
 講師 秋田経済法科大学経済学部 藤本 剛 教授
- 第5回** 後顧の憂い無く 11月1日(水)13:30～15:00
 高齢者の離婚増加と年金分割ほか
 講師 秋田経済法科大学 古田重明名誉教授

< 受講者数 >	受講登録者	94名	< 受講回数 >	5回	13名
	第1回講座	62名		4回	15名
	第2回講座	40名		3回	22名
	第3回講座	37名		2回	15名
	第4回講座	47名		1回	15名
	第5回講座	52名		0回	14名
	平均	47.6名			

社会人講座開講科目一覧

	科目名	□人を受講申込者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回
1	西欧の小国から日本を考える <県費・柳沢デザイン校> 英語圏外の西ヨーロッパの考え方を基に～ 国際教養大学外部講師 近藤梅江 秋田大学教授	31人	5/27 土 15:30					
2	アメリカの音楽 国際教養大学 ドン・ニルソン 特任教授 他 (クリスファー・ルキウス 講師、ブラッド・ブラックストーン 助教授、ジョン・モック 教授、マーク・カンガム 助教授、ドン・コリン 特任教授)	46人	5/15 月 19:00	6/ 3 土 13:30	7/15 土 13:30	9/16 土 13:30	10/28 土 13:30	11/18 土 13:30
3	韓国のことばと文化 - 比較民俗学から見た韓国入門 - 秋田大学教育文化学部国際言語文化課程 島村恭則 助教授	29人	5/16 火 18:30	5/23 火 18:30	5/30 火 18:30	6/ 6 火 18:30	6/13 火 18:30	
4	世界の歴史はコレで動いた ～歴史を変えたコショウと塩とビタミンCの物語～ 国際教養大学 安積 徹 特任教授	16人	5/27 土 10:30	6/10 土 10:30	6/24 土 10:30			
5	進化するブロードバンドネットワーク環境 秋田大学工学資源学部情報工学科 橋本 仁 助教授	8人	6/ 1 木 18:30	6/22 木 18:30	7/13 木 18:30			
6	ウィーンの応用美術博物館と明治日本 秋田公立美術工芸短期大学 天貝義教 助教授	4人	6/ 2 金 10:30	6/16 金 10:30	6/23 金 10:30	6/30 金 10:30	7/ 7 金 10:30	
7	保健医療の現状と看護の新たな取り組み 秋田大学医学部保健学科 浅沼義博 教授 他 (浅沼義博 教授、伊藤登茂子 助教授、村山志津子 助教授、 山路真佐子 講師、米山奈奈子 助教授)	14人	6/10 土 14:00	6/17 土 14:00	6/24 土 14:00	7/ 1 土 14:00		
8	商品開発論 秋田公立美術工芸短期大学 五十嵐潤 教授	15人	9/19 火 18:30	10/3 火 18:30	10/17 火 18:30	10/31 火 18:30	11/14 火 18:30	
9	アジアのグラフィック・デザイン事情 秋田公立美術工芸短期大学 官能右泰 助教授	8人	9/15 金 18:30	9/29 金 18:30	10/20 金 18:30	10/27 金 18:30		

	科目名	□人(受講申込者数)	1回	2回	3回	4回	5回	6回
10	日本建築史(古代~近代) 秋田公立美術工芸短期大学 澤田 享 教授 菅原香織 助手(第3回)	12人	9/20 水 14:30	9/27 水 14:30	10/4 水 14:30	10/11 水 14:30	10/18 水 14:30	
11	若いお父さんのための生涯発達心理学入門 秋田大学教育文化学部学校教育課程 森 和彦 教授	18人	11/ 8 水 18:30	11/15 水 18:30	11/22 水 18:30	11/29 水 18:30	12/ 6 水 18:30	
12	自分を再発見 - 生物から自分を捉える旅 - 秋田大学教育文化学部人間環境課程 <中止> 石井照久 助教授	3人	11/11 土 10:30	11/11 土 13:00	11/11 土 14:45	11/12 日 13:00	11/12 日 14:45	
13	ネイティブに近づく英語講座 ~効果的な英語の話し方・書き方~ 三浦脩台秋田大学名誉教授・秋田県立大学名誉教授	34人	11/15 水 18:30	11/22 水 18:30	11/29 水 18:30	12/ 6 水 18:30		
14	幼児の遊びとおもちゃ 聖園学園短期大学 腰山 豊 教授 他 (腰山豊教授、斎藤静夫教授、築地芳子助教授、 内藤裕子助教授)	21人	1/27 9:00 10:30	1/27 10:40 12:10	1/27 13:00 14:30	1/27 14:40 16:10	1/27 16:20 17:50	
			1回 6回	2回 7回	3回 8回	4回 9回	5回 10回	
15	宅建をめざす人のための法律講座 10回シリーズ 秋田経済法科大学法学部 道端忠孝 教授 他 (道端忠孝教授、古田重明教授、斎田統雄講師、 高井司朗非常勤講師)	36人	1/11 18:00 1/18 18:00	1/25 18:00 2/ 1 18:00	2/ 8 18:00 2/15 18:00	2/22 18:00 3/ 1 18:00	3/ 8 18:00 3/15 18:00	

高大連携授業

< 前期 > 科目別人数

	科 目 名	科目担当者	人数	男性	女性	
1	現代生物学入門	秋大(教育) 石井助教授	14	3	11	
2	英語文化・言語・教育・モチベーション学入門	秋大(教育) 佐々木教授	34	4	30	
3	英語で学ぶ自然界の法則 中止	秋大(教育) 佐藤教授	1	0	1	
4	生命科学への招待～分子生物学入門～	秋大(工学) 伊藤教授	14	7	7	
5	生き物たちの不思議な世界に学ぶ	県大(生物) 山本教授	20	7	13	
6	応用生物学への招待	県大(生物) 岡野助教授	31	11	20	
7	世界を見る、世界を考える	教養大 勝又教授	29	6	23	
8	看護学を知る～生きる力と看護～ 大館開講	看護大 奈良助教授	58	14	44	
9	君に伝えたい! 美術・工芸の魅力	公立美短 渋谷学科長	31	5	26	
10	健康と食生活 大館開講 中止	栄養短大 廣川教授	8	0	8	
11	高校生のための哲学_生きる意味について考える_ 社	聖霊短大 御子神助教授	9	0	9	
12	留学を考える人のために_機材から出発まで_ 社	聖霊短大 ジョナサン・ロ講師	5	2	3	
13	クラシックに親しもう!_生中の方シカ_ 社	聖霊短大 鳥井教授	9	2	7	
14	食品の基礎知識	聖霊短大 鈴樹教授	28	0	28	
15	社会福祉の動向_少子高齢化・人口減少が進む中で_	日赤短大 岩谷助教授	19	2	17	
16	高校生のための看護学入門	日赤短大 今泉特任教授	89	11	78	
17	放射線の化学入門_身近な放射線や原子力の利用_ 中止	放送大 岩田教授	2	0	2	
受講申込実人員 345人(開講中止科目に係る者を含む)			科目延べ人数	401	74	327

注1 10については申込者住所が大館・北秋田地域の者2名、秋田市・にかほ市の者6名であり、開講を中止した

注2 科目名欄中、「」は2次募集を、「社」は社会人聴講生募集したことを表す

注3 開講中止科目に係る者<11名>の内訳(開講中止により受講できない者4名、併願により他科目を受講する者7名)

< 後期 > 科目別人数

	科 目 名	科目担当者	人数	男性	女性	
1	英語で学ぶ自然界の法則	秋大(教育) 佐藤教授	7	2	5	
2	海外における保健医療分野の活動	秋大(医) 工藤教授	11	1	10	
3	システム科学技術の世界~人と暮らしを支えるサイエンステクノロジー~	県大(シ)小川学部長 中止	1(1)	1	0	
4	秋田の自然と生物資源~自然との共生を目指して~	"(生物)金田准教授 中止	2	0	2	
5	バイオテクノロジー~生物のはたらきを知り、人間の生活に役立てる~	県大(生物) 黒澤教授	6	0	6	
6	秋田から国際人を目指そう~Think Globally, Act Locally~	教養大 勝又教授	12	3	9	
7	経営と情報~経営における情報分析とコンピュータ利用入門~	経法大 跡部助教授 中止	0	0	0	
8	社会福祉ってなに? ~生活と幸せ~	看護大 出雲教授 集中	4	3	1	
9	君が講じる!美術・工芸の魅力~彫刻・鍍金・染色・漆芸・木工芸~ 社	公立美短 渋谷学科長	25	4	21	
10	「かたちづくりの世界」2006~デザインの思考と表現~ 社	公立美短 五十嵐学科長	25	4	21	
11	健康と食生活	栄養短大 廣川学科長	7	0	7	
12	ファッションコーディネート	聖霊短大 佐藤講師 中止	2(2)	0	2	
13	高校生のための倫理学~正しく生きるってどんなこと?~	聖霊短大 御子神助教授	8	0	8	
14	英語リスニング	聖霊短大 渡部教授	8	1	7	
15	現代の社会福祉の動向	日赤短大 岩谷助教授	20	0	20	
16	保育専門科目	聖園短大 腰山教授	41	0	41	
17	コンピュータによるものづくり~CADからできること~	職能短大 田山教授	5	5	0	
18	電子工学への招待~電子工学の面白さを探る~	職能短大 工藤教授 中止	0	0	0	
19	インターネットの仕組み~インターネットの背後で動いている技術~	職能短大 徳田教授 中止	1	1	0	
受講申込実人員 152人(開講中止科目に係る者を含む) (男性20名、女性132名)			科目延べ人数	185(2)	25	160

開講中止科目に係る人数 6名(うち、当該科目のみ出願のため受講できない者(3)名、他科目併願者3名)

< 参考 > 高大連携授業受講者の内訳

男女別(実人員)

	18年度<後期>	18年度<前期>	17年度<後期>	17年度<前期>	16年度(9~11月)
男 性	20人(13.2%)	63人(18.3%)	42人(20.9%)	33人(9.9%)	48人(15.5%)
女 性	132人(86.8%)	282人(81.7%)	159人(79.1%)	299人(90.1%)	262人(84.5%)
合 計	152人(100.0%)	345人(100.0%)	201人(100.0%)	332人(100.0%)	310人(100.0%)

地域別(実人員)

	18年度<後期>	18年度<前期>	17年度<後期>	17年度<前期>	16年度(9~11月)
鹿角小坂地域	2人(1.3%)	15人(4.3%)	0人(0.0%)	1人(0.3%)	0人(0.0%)
大館北秋地域	6人(3.9%)	24人(7.0%)	7人(3.5%)	0人(0.0%)	1人(0.3%)
能代山本地域	2人(1.3%)	23人(6.6%)	17人(8.5%)	13人(3.9%)	7人(2.3%)
秋田男鹿地域	86人(56.6%)	191人(55.4%)	139人(69.1%)	238人(71.7%)	250人(80.6%)
本荘由利地域	22人(14.5%)	59人(17.1%)	28人(13.9%)	60人(18.1%)	34人(11.0%)
大曲仙北地域	16人(10.6%)	17人(4.9%)	9人(4.5%)	15人(4.5%)	13人(4.2%)
横手平鹿地域	18人(11.8%)	4人(1.2%)	1人(0.5%)	5人(1.5%)	5人(1.6%)
湯沢雄勝地域	0人(0.0%)	12人(3.5%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
合 計	152人(100.0%)	345人(100.0%)	201人(100.0%)	332人(100.0%)	310人(100.0%)

学年別(実人員)

	18年度<後期>	18年度<前期>	17年度<後期>	17年度<前期>	16年度(9~11月)
1 年 生	25人(16.5%)	36人(10.4%)	53人(26.4%)	44人(13.3%)	72人(23.2%)
2 年 生	52人(34.2%)	116人(33.6%)	95人(47.2%)	104人(31.3%)	126人(40.7%)
3 年 生	75人(49.3%)	193人(56.0%)	53人(26.4%)	184人(55.4%)	112人(36.1%)
合 計	152人(100.0%)	345人(100.0%)	201人(100.0%)	332人(100.0%)	310人(100.0%)

3年生には定時制4年生を含む

ホームページの開設

秋田の大学間連携活動を広く情報発信していくために、平成19年4月1日からホームページを開設しました。

大学コンソーシアムあきたホームページURL

<http://www.consortium-akita.jp>

主要コンテンツ

- (1) 大学コンソーシアムあきた各種事業の情報発信
 - ・ 高大連携授業、社会人講座、連携公開講座などの開講情報をタイムリーに提供します
- (2) カレッジプラザに関する情報発信
 - ・ 県内高等教育機関による連携・交流・地域貢献の活動拠点「カレッジプラザ」に関する情報を随時提供します
- (3) 各大学からのPR情報発信
 - ・ 大学コンソーシアムあきたのみならず、各大学等によるPR情報（公開講座や各種トピックス）を一元的に発信する拠点として、効果的かつ利便性の高いツールとして利用してください

特徴的な機能

- (1) ホームページからの受講申込
 - ・ コンソーシアムが主催する各種講座については、ホームページから簡単に受講申込が可能です
- (2) メールマガジンによる講座情報の提供
 - ・ 講座情報を提供するメールマガジンを登録者へ随時提供できます（「講座情報メールマガジン」）
- (3) メールマガジンによる各大学教員へのダイレクトな情報提供
 - ・ 大学コンソーシアムあきたから県内大学・短大等の教職員の方々へお知らせ（活動情報や科目募集などの告知）をメールマガジンにより随時提供します（「大学関係者用メールマガジン」）

<メールマガジン登録のお願い>

各大学・短大等の教職員の皆さまには「大学コンソーシアムあきた」ホームページをご覧ください、「大学関係者用メールマガジン」に登録して下さるよう各機関ホームページ御担当者を通じて呼び掛けています。

設立1年目のあゆみの刊行

平成17年度中の活動状況などをまとめた広報資料「大学コンソーシアムあきた設立1年目のあゆみ」を刊行し、各構成機関に配布したほか、全国研究交流フォーラム等においても配布しました。

A4判8頁 1,000部作成